

開講科目名 / Course	家族看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、姫野 雄太、矢野 亜紀子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	家族看護では、家族全体を看護の対象と考え、家族の力を最大限に引き出し、家族全体の健康を目指して、未来の危機に備える力をつける支援が重要となる。これらの支援を行うために、家族看護では、多様な家族に対する理解を深めるため、理論やモデルをもとにアセスメントを行い、家族のニーズを理解したうえで看護が行えるようになることを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護の特徴や理念、対象を説明できる。 2. 家族看護を支える理論と介入法を説明できる。 3. 家族看護展開の方法を説明できる。 4. 家族アセスメントモデルについて説明できる。 5. 事例に対して家族看護を展開できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 家族看護とは 02. 家族看護の対象理解 03. 家族看護を支える理論と介入法 04. 家族看護展開の方法 05. 家族看護展開の実際 06. 家族アセスメントモデル 07. 家族看護の実際（事例展開）（理論とモデル） 08. 家族看護の実際（事例展開）（家族アセスメント） 09. 家族看護の実際（事例展開）（家族看護計画） 10. 家族看護の実際（事例展開）（家族看護の介入と評価） 	
その他の授業の工夫	事例展開では、それまでの講義内容を活用でき、グループワークおよび発表の機会がある。	
時間外学修	事前課題や筆記試験により講義に関する予習や復習を行う。	
評価方法と評価割合	出席・態度（10%）、レポート・提出物（20%）、筆記試験（70%）	
テキスト	系統看護学講座 別巻 家族看護学（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 姫野雄太：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の実務経験を活かして家族看護学の理論や知識について教育する。	